

10月16日（金）

10月16日（金）

開会のあいさつ

8:50~ 9:00

大会長講演（PL）

9:00~10:00

気分障害の包括的理 解に向けて

座長：野間 俊一（のまこころクリニック）

自治医科大学 とちぎ子ども医療センター 子どもの心の診療科

阿部 隆明

シンポジウム1（S1）

10:00~12:30

うつ病の精神病理を見直す——「あの祭り」のあとで

座長：深尾憲二朗（帝塚山学院大学 人間科学部 心理学科）

松浪 克文（公立学校共済組合関東中央病院 メンタルヘルスセンター）

S1-1 焦げつく時間——うつ病の時間性を焦躁から見直す

自治医科大学 精神医学講座

小林 聰幸

S1-2 トラウマ・解離・スキーマ形成の視点から考えるメランコリー親和型

ほりメンタルクリニック

堀 有伸

S1-3 うつ病の複雑化と外傷性について

のまこころクリニック

野間 俊一

S1-4 うつ病と暦時間 「あの祭り」と「きのうの祭り」

愛仁会高槻病院 精神科

杉林 稔

評議員会

12:40~13:10

教育講演（EL）

13:30~14:30

狂気内包性精神病理学・狂気内包性精神療法を考える

座長：鈴木 國文（松蔭病院）

小山富士見台病院

加藤 敏

シンポジウム2 (S 2)

14:40~17:10

2020年、統合失調症は消えゆくのか？

座長：岡島 美朗（自治医科大学附属さいたま医療センター）

内海 健（東京藝術大学 保健管理センター）

S2-1 『自明性の喪失』を今、よみなおす

伊丹健康福祉事務所／兵庫県精神保健福祉センター

清水 光恵

S2-2 初期統合失調症の臨床から統合失調症の病態を見抜く—そして、その道は続く—

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 精神科

関 由賀子

S2-3 統合失調症に出現する特異的な症状は精神疾患を伴う神経疾患との鑑別からより明らかになる可能性

足利赤十字病院 神経精神科

船山 道隆

S2-4 文化の視点からみた統合失調症のゆくえ

自治医科大学 看護学部

大塚公一郎

10月17日(土)

シンポジウム3 (S 3)

9:30~11:30

精神医学の哲学としての精神病理学

座長：井原 裕（獨協医科大学埼玉医療センター こころの診療科）

兼本 浩祐（愛知医科大学 精神神経科学講座）

S3-1 精神科医療における認識的不正義の三層構造

東京大学医学部附属病院 精神神経科

榎原 英輔

S3-2 哲学的精神病理学の動機と意義

大阪国際がんセンター

和田 信

S3-3 患者のファントム身体は治療者の空想身体の上にどのように現れるか

医療法人遊心会 にじクリニック

塩飽 耕規

総会

11:45~12:15

10月17日（土）

特別講演（SL）

13:00~14:00

中動態から考える自己

座長：阿部 隆明（自治医科大学とちぎ子ども医療センター子どもの心の診療科）
東京大学大学院 総合文化研究科
國分功一郎

シンポジウム4（S4）

14:20~16:50

日本のラカン受容のこれまでとこれから

座長：松本 卓也（京都大学大学院人間・環境学研究科）
鈴木 國文（松蔭病院）

S4-1 精神分析の治療原理の探究と臨床精神療法構築

奈良大学
新宮 一成

S4-2 「セミネール」刊行と日本のラカン的臨床、これまでとこれから

独立行政法人 国立病院機構 東尾張病院
菅原 誠一

S4-3 カエサルのものは、カエサルに—具体的なものの思考

十川精神分析オフィス
十川 幸司

S4-4 精神医学における精神分析の場所

自治医科大学 精神医学講座
西依 康

閉会の挨拶

16:50~17:00

一般演題（10月16日（金）～25日（日）オンデマンド配信）

A 精神病1

- コメンテーター：岡 一太郎（もみじヶ丘病院）
- A-1 病的事象気分再考－定義と、これにより励起されるもの
三次病院
佐々木康史
- A-2 Prodromeの発露－芸術と精神病理の交差する地点
京都女子大学 現代社会学部
濱崎由紀子
- A-3 統合失調症が呈する症状群のECT反応性に関する精神病理学の一考察
東北福祉大学 せんだんホスピタル
高野 肇久

B 精神病2

- コメンテーター：熊崎 努（東京農工大学 保健管理センター）
- B-1 意味連続性について
川崎市立多摩病院 神経精神科
工藤 弘毅
- B-2 Jaspers, K の了解の彼岸：Element, Daemon, Fragment
筑波大学医学医療系 茨城県地域臨床教育センター 精神科
佐藤 晋爾
- B-3 単一精神病論の今－変わるものとの変わり方の臨床研究へのその寄与
国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科
古城 慶子

C 自閉症

- コメンテーター：広沢 正孝（順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科）
- C-1 自閉スペクトラム症（ASD）の「感覚体験」を考える
ードナ・ウィリアムズや東田直樹らの自伝などを通して－
東北文化学園大学 医療福祉学部
二木 文明
- C-2 成人期の自閉症スペクトラム障害に認めた「並外れた高い目標」
－統合失調症における「幻想同一化的自我（吉松）」との異同をめぐる考察－
国家公務員共済組合連合会 虎の門病院
佐々木雅明
- C-3 自閉スペクトラム症を精神病理学的に理解するための試み－第8報－
医療法人陽善会 坂之上病院
小城くみこ

D 気分障害

コメンテーター：大前 晋（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 精神科）

D-1 COVID-19 の影響下で顕在化した内因性うつ病について

公立学校共済組合関東中央病院 メンタルヘルス科

秋久 長夫

D-2 男性双極性障害の精神療法は何故これほど難しいのか

もみじヶ丘病院

芝 伸太郎

D-3 精神療法の観点からうつ病の精神病理を再考する（その2）

獨協医科大学埼玉医療センター こころの診療科

田中伸一郎

E 神経症

コメンテーター：林 直樹（帝京大学病院 メンタルヘルス科）

E-1 刻印された身体性：女性であることと、その身体を持つこと

福島県立医科大学会津医療センター 精神医学講座

西郷 佳世

E-2 解離性同一性障害の1症例—物想い（Bion）と抑うつポジションのとば口ー

東京慈恵会医科大学附属柏病院 精神神経科

川上 正憲

E-3 神経症症状と病態の関係について

大阪府立大学 人間社会システム科学研究科

総田 純次

F 症候学1

コメンテーター：生田 孝（聖隸浜松病院 精神科）

F-1 妄想の枠組説について

京都大学大学院医学研究科 精神医学教室

植野 仙経

F-2 ヒューム哲学の精神医学への応用

尾山台すくすくクリニック

新井 慎一

F-3 Schneider K の目的反応の現代的意義

聖マリアンナ医科大学 神経精神科

池田 和弘

G 症候学2

コメンテーター：針間博彦（東京都立松沢病院 精神科）

G-1 「away 認知」と「内面」の様態をめぐって

関西福祉科学大学 心理科学部

小笠原将之

G-2 精神医学におけるこころと身体：

自然科学と精神病理学の連繋のための方法論とは？

慶應義塾大学医学部 精神神経科

前田 貴記

G-3 物象化論から内因性のねじれを解く—弁証法的精神病理学批判

磯ヶ谷病院

根本 豊實

H 社会・文化

コメンテーター：西岡和郎（国立病院機構 東尾張病院）

H-1 精神科医の世界観・死生観

さとうメンタルクリニック

佐藤 寛

H-2 精神疾患を診る視点 — 日本とドイツの比較文化的視座からの考察

前橋赤十字病院 精神科

菅原 一晃